## 一誌一句(受贈誌 3 ・ 4 月号他より)

## 米田 透 抄出

モノクロの昭和がふっと咳をする	爺婆のお菜粗にしておぼろの夜	犬が人散歩させをり春の朝	推敲の一句決まらぬ春の宵	竜天に一朶の雲の見当たらず	焼芋や灯りの下に子がひとり	風花や忘れてひさし己が顔	寒雷の喝の一撃目覚めよと	湯の街の梅の明りに瀬音あり	山畑はよろこぶべきか雪残る	
(山 河)	(濃美)	(氷 室)	(あすか)	(方 円)	(犀)	(藍)	(道)	(雪 解)	(青 嶺)	
山本 敏倖	渡辺 純枝	尾池 和夫	野木 桃花	石渡旬	桑原 三郎	花谷清	田湯岬	古賀 雪江	木附沢麦青	